



2024年11月13日

2025年3月期第2四半期 (上期) 決算説明

株式会社アール・エス・シー
(東証スタンダード 4664)



01 2025年3月期上期決算の概要

02 2025年3月期の業績見通しと株主還元

03 中期経営計画の概要と進捗

04 サステナビリティ経営の概要

01

2025年3月期上期決算の概要

02

2025年3月期の業績見通しと株主還元

03

中期経営計画の概要と進捗

04

サステナビリティ経営の概要

2025年3月期上期 連結業績ハイライト

01

前年同期比

【売上高】

+20.6%

【営業利益】

+11.4%

人材サービス事業の臨時大型イベント業務の受注
ホテル警備等の新規受注案件の獲得

02

期初予想比

【売上高】

+19.0%

【営業利益】

+114.2%

人材サービス事業の臨時イベント業務の仕様の増加
建設工事や設備部門などが期初予想比で好調に推移

03

増配

【中間配当金】

+2円

【期末配当金】

+7円

中間配当期初比2円、期末配当期初比7円の増配
年間配当は1株当たり24円を予定

04

通期予想の上方修正

【修正後売上高】

8,914百万円 (修正幅+811百万円)

【修正後営業利益】

282百万円 (修正幅+130百万円)

連結 損益計算書

◎前期において臨時業務受注が好調であったグループ会社の工事業務の反動、ならびに官公庁大型長期案件の契約満了等に伴う売上高約10億円の減少があったものの、新たな大型イベント業務およびホテル警備の新規受注等によりカバーし大幅な増収を達成した。

損益計算書

単位：百万円

	24/3期 上期		25/3期 上期		前年 同期比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	4,214		5,082		+868	+20.6%
売上原価	3,413	81.0%	4,236	83.3%	+823	+24.1%
売上総利益	801	19.0%	845	16.6%	+45	+5.6%
販売管理費	581	13.8%	601	11.8%	+20	+3.4%
営業利益	219	5.2%	244	4.8%	+25	+11.4%
経常利益	236	5.6%	250	4.9%	+14	+6.0%
当期利益	158	3.7%	162	3.2%	+4	+2.5%

【総合建物サービス】

<警備部門>

サンシャインシティプリンスホテルの警備業務開始
大規模物流施設の警備業務開始

<清掃部門>

銀座エリアオフィスビルの清掃業務開始
埼玉エリア複合施設（オフィス・商業エリア）の清掃業務拡大

セグメント別 売上高／売上総利益

単位：百万円

	24/3期 上期	25/3期 上期	増減
売上高	4,214	5,082	+868
建物総合サービス	3,715	3,457	△257
人材サービス	499	1,625	+1,126

	24/3期 上期	25/3期 上期	増減
売上総利益	801	845	+45
建物総合サービス	729	680	△49
人材サービス	72	165	+93

<設備・工事部門>

サンシャインシティにおける店舗改装に伴うシャッター更新工事実施
既存先事業所の修繕・改修業務を多数受注
大型家電量販店の昇降機設備等のリニューアル作業を多数実施

【人材サービス】

大型イベントプロモーション運營業務の臨時業務の仕様の増加

連結 貸借対照表

貸借対照表

単位：百万円

	24/3期	25/3期 上期	増 減	主な増減要因
現金・預金	1,934	1,323	△611	※
受取手形及び売掛金	925	2,454	+1,529	※
その他の資産	1,342	1,287	△55	
資産合計	4,201	5,064	+863	
買掛金	360	672	+312	※
短期・長期借入金	447	860	+413	※
その他の負債	1,337	1,402	+65	
負債合計	2,144	2,925	+781	
資本金	302	302	-	
資本剰余金	245	242	△3	
利益剰余金	1,452	1,576	+124	
自己株式	△13	△42	△29	譲渡制限株式報酬の支払、自己株式の取得
その他の純資産	71	61	△10	有価証券評価差額金
純資産合計	2,057	2,139	+82	
負債・純資産合計	4,201	5,064	+863	

※ 大型イベントプロモーション運営業務等の受注に伴う、売掛金の増加、外注費の先行支払、短期借入の実行によるもの

キャッシュフロー計算書

	24/3期 上期	25/3期 上期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	143	△960	売掛金の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	4	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56	337	短期借入金の純増、長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	1,287	832	

01

2025年3月期上期決算の概要

02

2025年3月期の業績見通しと株主還元

03

中期経営計画の概要と進捗

04

サステナビリティ経営の概要

2025年3月期の連結業績予想

2025/3月期の業績予想は期初予想と比較し、大型イベント業務の仕様の増加および友和商工の上期工事の受注が伸長したこと等に伴い、業績予想の修正を実施しました。下期見込については今後必要に応じて業績予想の見直しを行います。

単位：百万円

	2025/3期 期初予想	2025/3期 修正予想	期初予想比	前年実績比 (参考)
(連結) 売上高	8,103	8,914	+811	+817
営業利益	152	282	+130	△2
経常利益	152	287	+135	△13
当期純利益	79	197	+118	△48 ※1
(個別) 売上高	6,225	6,813	+588	+1,112
経常利益	139	199	+60	+53
当期純利益	93	134	+41	△12 ※1
配当額 (1株当たり)	15円 (見込)	24円 (見込) ※2	+9円 (見込)	—

※1 前年同期は特別利益として投資有価証券売却益を72百万円計上

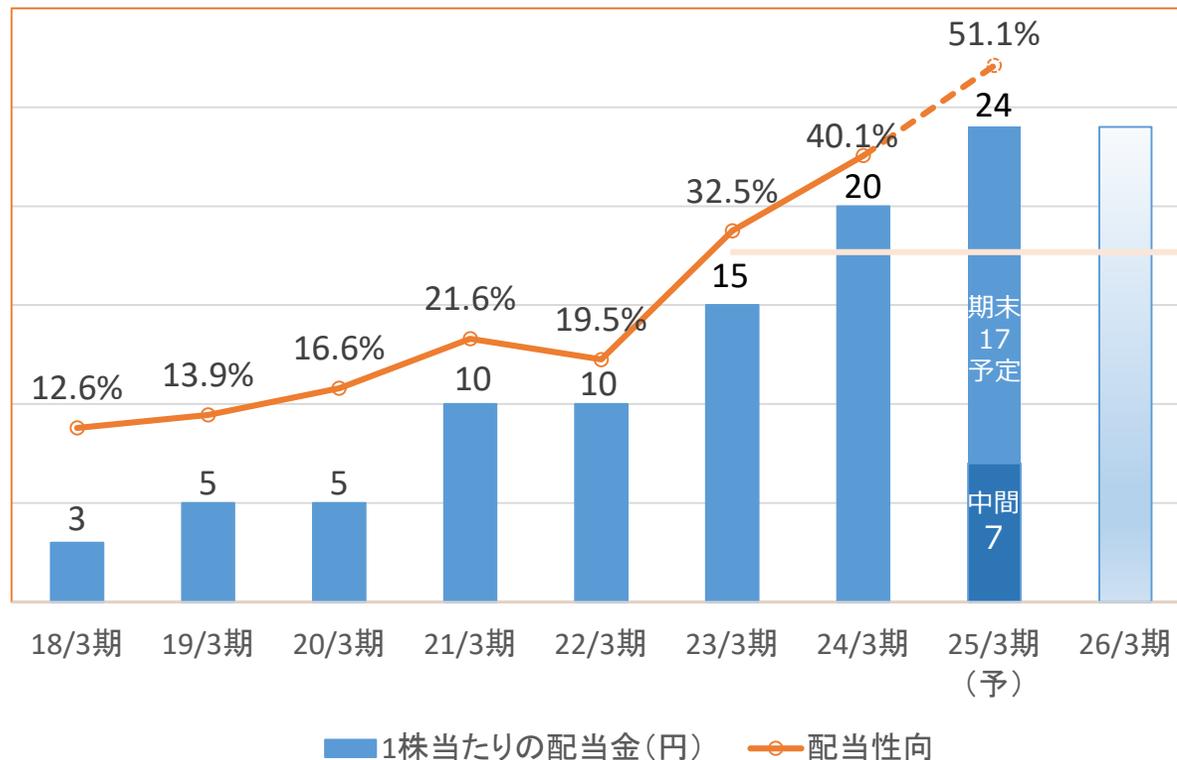
※2 2025/3期は中間配当を2円、期末配当を7円、計9円の増配見込

株主還元方針と配当予想

2025年3月期の中間配当は期初予想を2円増額修正し、1株当たり7円の配当を実施

加えて期末配当を期初予想から7円増額修正をし、**年間配当では前期比4円増配となる1株当たり24円を予定**

【配当実績と今後の配当イメージ】



配当性向30%ライン

単体の配当性向の目安を20%以上から
30%以上に変更（2024年3月期より）

※ 配当性向は期中平均株式数（25/3期は見込）による個別の配当性向見込

01

2025年3月期上期決算の概要

02

2025年3月期の業績見通しと株主還元

03

中期経営計画の概要と進捗

04

サステナビリティ経営の概要

中期経営ビジョン（2021年3月期～2026年3月期）

経営理念

Philosophy

経営理念の実現

RSCグループは、信頼されるサービスを提供し、人が生活するあらゆる場面において、常に安全・安心・快適な環境を創造していきます

中期経営ビジョン

Vision

環境変化への対応

- ・人材不足、技術革新の進展
- ・業界再編の動き

当社らしさの継承

- ・長期的な信頼関係を重視する姿勢
- ・従業員を大切にする社風

持続的成長に向けた基盤づくり

革新的なサービスへの挑戦

中期的に目指す姿

たゆまぬ「革新」を通じて、お客さま、従業員、株主さま、そして地域社会の皆さま、すべてのステークホルダーへ「信頼」を礎に、「安全」と「満足」を提供するプロフェッショナル集団

基本戦略

Basic Strategy

収益力の向上

- ・ワンストップソリューション提案
- ・エリア管理体制の構築

技術力の強化

- ・サービス品質の維持・向上
- ・新技術の導入（業務DX化）

職場環境の改善

- ・女性の活躍推進
- ・従業員エンゲージメントの向上

経営基盤の強化

- ・持続的な成長の実現
- ・環境への配慮

持続的な成長の基盤づくり

安定した財務基盤を活用し、人材確保、展開エリアの拡大、新技術の獲得、資本業務提携、M & A等を目的とした投資に前向きに取り組む

当社の強みとするビジネスモデル

大規模複合施設であるサンシャインシティモデルを軸に
総合的な提案力を活かしたワンストップソリューションを提供



顧客の利便性を高め、**差別化**を図るととも
に、施設当たりの**収益性向上**を目指す。
また、新技術の提案を促進する。

警備保障



設備・工事



イベント運営・警備



オフィステナントへの
人材派遣



セキュリティロボット
による巡回備警



受付
(インフォメーション)



清掃



New
AI警備システムに
よるカメラ監視業務

数値目標

25/3期の期初予算は、新規事業所の開始や大型イベントプロモーション業務の受注により、過去最高売上高となる81億円を見込む一方、利益においては成長投資として約1億円の人的投資を行うことにより減益を見込んでおりましたが、大型イベントプロモーション業務仕様の大幅な増加増加および工事案件の受注が伸長し、業績予想の上方修正を公表いたしました。

24/3期および25/3期は大型臨時業務の受注により、本中期経営計画の連結売上高目標である75億円については既に到達（見込み）しておりますが、最終年度の目標達成に向けて特に利益率の改善に尽力してまいります。

【損益計画】	【実績】				【期初予算】	【修正予算】	【計画】	増減 (21/3期 比)
	21/3期 (基準期)	22/3期 (1年目)	23/3期 (2年目)	24/3期 (3年目)	25/3期 (4年目)	25/3期 (4年目)	26/3期 (5年目)	
連結売上高	5,935	5,742	6,027	8,097	8,103	8,914	7,500	+1,565
売上総利益	1,070	1,092	1,103	1,450	1,414	1,513	1,500	+430
売上総利益率	18.0%	19.0%	18.3%	18.0%	17.4%	17.0%	20.0%	+2.0 pp
営業利益	202	216	191	284	152	282	300	+98
営業利益率	3.4%	3.8%	3.2%	3.5%	1.9%	3.2%	4.0%	+0.6 pp
経常利益	218	243	198	300	152	287	310	+92
経常利益率	3.7%	4.2%	3.3%	3.7%	1.9%	3.2%	4.1%	+0.4 pp
当期純利益	147	164	127	245	79	197	217	+70
当期純利益率	2.5%	2.9%	2.1%	3.0%	1.0%	2.2%	2.9%	+0.4 pp

トピックス① **New** 新技術の導入（警備業務DX化）

① 『サンシャインシティプリンスホテル』でA I 警備システムを活用した警備業務を開始

～ ホテル業界への新たな警備サービスの提案 ～



サンシャインシティプリンスホテルは、当社が警備する池袋のランドマークである「サンシャインシティ」と一体となった施設であり、観光客を中心に不特定多数の人々が入り出する中、常に安心・安全に利用できる環境作りを推進しております。

当社として改めてホテル業界の警備に参入するものであり、サンシャインシティプリンスホテルの警備におきましては、2023年8月16日に業務提携をいたしました株式会社アジラの開発する、行動認識技術を基にしたA I 警備システム『AI Security asilla』と人的な警備を組み合わせた新たなサービスを提供し、警備体制を強化してまいります。『AI Security asilla』のホテル業界への本格導入は初めてとなります。

② 池袋サンシャインシティでA I 警備システムを活用した施設警備の本格運用開始

～ 行動認識A Iをベースとした警備システム『AI Security asilla』の本格運用を開始～

当社が警備する池袋のランドマークである大型複合施設「サンシャインシティ」において、2023年11月9日よりA I 警備システム『AI Security asilla(以下 asilla)』を導入し、実証実験を実施しておりましたが、2024年9月5日より、サンシャインシティ各エリア(サンシャイン 60 ビル、専門店街アルパ、ワールドインポートマートビル、文化会館ビル、サンシャインシティプリンスホテル)で『asilla』の本格運用を開始いたしました。

このシステムの本格活用によって、当社はアジラと共に、サンシャインシティに来館されるお客様に対し、より一層の安全・安心・快適なサービスの提供を目指してまいります。



トピックス② **New**

③ 飛島コンテナ埠頭警備業務開始【RSC中部】

連結子会社の株式会社アール・エス・シー中部は、2024年4月1日から、名古屋港に所在する「飛島ふ頭南側コンテナターミナル」の警備業務を開始いたしました。



④ ウェブノ業務提携

サステナビリティ推進活動である「地域社会への積極的な関わり」において、人材採用力に長け、警備業務のIT・DX化に取り組んでいるウェブノ株式会社と2024年6月に業務提携契約を締結いたしました。

webno

⑤ インフォメーションスタッフ秋冬制服の刷新

当社が受託しているサンシャインシティ受付業務のインフォメーションスタッフが着用している秋冬の新ユニフォームを2024年10月1日より刷新いたしました。



01

2025年3月期上期決算の概要

02

2025年3月期の業績見通しと株主還元

03

中期経営計画の概要と進捗

04

サステナビリティ経営の概要

RSCグループのサステナビリティ経営

“人”と“地域との関係性”を重視し、お客さまに信頼されるサービスを提供することにより、企業価値の向上と地域発展に貢献することを念頭にサステナビリティ基本方針を定めました。

サステナビリティ基本方針

RSCは、池袋・丸の内などの日本の都心部を担う大規模複合施設を中心にした総合ビルマネジメント会社です。エリア特化型で、施設警備をコアに 清掃、設備管理、建築工事、人材サービスなど幅広いビルマネジメントサービスをワンストップで提供してまいります。

「安全・安心・快適」な環境を創造する社会インフラとしての役割を果たすべく、R「Reliance(信頼)」S「Service(サービス)」C「Corporation (会社)」の企業名に込められているような、お客様に信頼いただける、ホスピタリティ溢れるサービスを提供していきたいと考えております。そのためにも、そのサービスを提供する「人財」への積極的な投資を行い、人的資本経営を推進してまいります。

RSCは、取引先・従業員・投資家など全てのステークホルダーの皆様と共に、ビルで働く人、訪れる人を中心に関わる人全ての、安全・安心の先にあるウェルビーイングを実現し、持続可能な地域社会の発展に貢献します。

R S Cグループのサステナビリティ経営

『サステナビリティ基本方針』に基づき以下のR S Cグループのマテリアリティ（重点課題）について取り組んでまいります。

1. お客様からの信頼を礎にした事業活動と法令遵守意識の徹底



これまで培ってきたお取引先企業の皆様からの「信頼」を礎にした、安全・安心・快適なサービスを提供すべく、法令遵守の徹底と共に誠実な企業活動に努めます。

2. 人的資本経営とダイバーシティの推進



グループ事業の根幹となる「人財」への積極的な投資を行い、誰もが持続的に活躍し、ウェルビーイングを実現できる職場環境を目指します。

3. 地域社会への積極的な関わり



事業活動の基盤となる各地域の社会活動に積極的に参加し、地域社会の発展に貢献いたします。

4. DXによるナレッジ蓄積とサービスクオリティの向上



DXを推進することにより、総合ビルマネジメントのナレッジを蓄積すると共に、サービスクオリティの向上を追求いたします。

5. 地球環境への配慮



地球環境に配慮した事業活動を行うため、グループだけでなく、サンシャインシティのサステナビリティ活動にも積極的に協力することで、より効果的な活動になることを目指します。

免責事項

- 本資料の作成に当たり、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、作成しております。
- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。